

令和5年度東京都多摩地域公立図書館大会開催要項

『これからの図書館 ー過去から未来へー 』

1 趣 旨

デジタル技術の進歩は、実空間としての図書館とともに、情報空間としての電子図書館の利用を可能にするなど、図書館のさらなる発展を予感させます。

また、平均寿命、健康寿命とも世界トップクラスとなり、多様な年代から求められる知的好奇心に応えるため、図書館には、さらなる期待が寄せられています。

同時にそれは、図書館職員にとって、そこに内包される様々な課題と向き合うことでもあります。

図書館は、人類の「知の拠点」として、長い歴史を培ってきました。その歴史の末端にいる我々が、現代の図書館で巡り合った課題について、この大会を通じて考え、未来の図書館像を思い描いてもらいたいと思います。

2 主 催 東京都町村立図書館長協議会

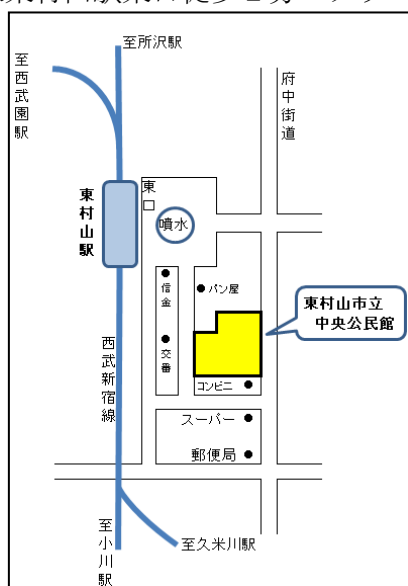
3 後 援 東京都教育長会、東京都西多摩郡町村教育長会、
公益社団法人日本図書館協会

4 会 期 令和6年2月6日（火）、7日（水）、8日（木）

5 会 場 東村山市立中央公民館 ホール

住所：東京都東村山市本町2-33-2

西武新宿線東村山駅東口徒歩2分 グリーンバス「東村山東口」下車、徒歩2分



6 対 象 図書館職員及び一般の方（全講演に手話通訳が付きます）

7 参加費 無 料

8 申込方法 一般の方は、当日直接会場へ。
図書館職員、図書館協議会委員及び読書団体関係者等については、各図書館で参加希望者を取りまとめ、大会事務局へEメールにて事前申込みとする。

9 受付期間 令和6年1月19日（金）まで

10 問い合わせ 東京都多摩地域公立図書館大会実行委員会事務局
福生市立中央図書館（担当：森本）
TEL：042-553-3111 / FAX：042-552-1722
E-mail：f-libra@city.fussa.lg.jp

当日の講師及び講演要旨は裏面をご覧ください。

第1日目 2月6日(火) 午前の部 9:30 受付 / 午後の部 13:30 受付

10:00	開会式／第1分科会:館長協議会『デジタル時代の西洋装飾写本』 講師:安形 麻理氏(慶應義塾大学 文学部 教授) 書物はさまざまな技術と文化の交差点だといえる。本講演では、西洋中世の装飾写本を題材に、写本制作にかかわる技術と社会における書物の位置付けをとりあげる。また、手書き文字のデザインが、印刷活字へ、そして現代のコンピュータフォントへどのように継承されているかを概観する。さらに、装飾写本や初期印刷本のデジタル化の動向や有用なデジタルアーカイブを紹介し、今後の利活用の可能性について考えたい。
12:00	
14:00	第2分科会:三多摩地域資料研究会 『地域資料のデジタル化と利活用ー過去から未来を創るー』 講師:稲垣 実氏(TRC-ADEAC株式会社 代表取締役) 近年の環境・社会の変化により、公共図書館による地域資料デジタルアーカイブ化の必要性がますます高まっている。実際に事業化するにはどのようなポイントを押さえればよいのか、そして利活用されるためには、どのような工夫が必要なのかをお話する。また、最近の事例を参考に、地域資料の教育、観光、産業といった場面での利活用について検討していく。
16:00	

第2日目 2月7日(水) 午前の部 9:30 受付 / 午後の部 13:30 受付

10:00	第3分科会:障がい者サービス研究会 『認知症基本法と図書館における認知症バリアフリー』 講師:野口 武悟氏(専修大学 文学部 教授) 超高齢社会(高齢化率21%以上)の日本においては、認知症の人も増加傾向にある。2023年6月には「認知症基本法」が制定され、社会全体として認知症になっても安心して暮らせる認知症バリアフリーの実現が喫緊の課題となっている。図書館としてはどのような取り組みを進めたらよいのだろうか。2023年3月公表の『認知症バリアフリー社会実現のための手引き(図書館編)』(日本認知症官民協議会)の内容にもとづきながら、考えていきたい。
12:00	
14:00	第4分科会:図書館サービス研究会『市町村立図書館におけるTAMALAS活用の可能性』 講師:中川 恭一氏(NPO法人共同保存図書館・多摩理事) 吉本 龍司氏(株式会社カーリル 代表取締役) 多摩地域の市町村立図書館が資料を除籍する際に活用しているサイト、“TAMALAS”の可能性について二人の講師より報告する。前半は「TAMALAS一括処理システムの応用事例研究」として、一括処理システムの小回りの利く実践例を紹介。後半はTAMALAS開発者から「AI時代の資料保存を考える/TAMALASの可能性」として、TAMALASの開発過程を振り返りつつ、ISBNの付いていない書誌への機械的な附番についての実証実験について報告し、今後の展望を語る。
16:00	

第3日目 2月8日(木) 午前の部 9:30 受付 / 午後の部 13:30 受付

10:00	第5分科会:児童サービス研究会『絵本が育てる子どもの力～SNS時代の絵本力～』 講師:浅木 尚実氏(白鷗大学 教育学部 教授) 現代の子育てにおいて、IT環境が身近となり変革の時代を迎えている。しかし、人とのつながりやゆるぎない人間関係の構築が、人生の基盤であることに変わりはない。本講演では、絵本による子育てが、愛着形成や言葉を豊かにするだけでなく、聴く力や自己肯定感を育むことに注目し事例を交えながら語る。また、保育や幼児教育の現場では、絵本がごっこ遊びの展開となる事例や好奇心喚起・認知能力につながるブックトークについても紹介する。
12:00	
14:00	第6分科会:協力担当者会『図書館サービスにおけるリスク管理について』 講師:中川 恭一氏(白百合女子大学 特任教授) 利用者のクレーム対応や貸出し、返却時のトラブルなど、図書館サービスにおいてはさまざまなリスクが伴う。災害対策としての危機管理もリスク回避の事例であるが、両者に共通するのは、予知・予防対策がポイントであること。今回のテーマは、大学での司書課程講義でもとりあげているが、図書館サービスでのさまざまなリスクとその解決策や考え方について、身近なテーマを選びながら、一緒に考える機会としたい。
16:00	閉会の挨拶